

## 第 I 部

### 1 ～として/としては/としても

意味 ①立場・資格・種類をはっきり言う。②～としたら(～としても)

接続 「名」＋として

例文 わたし りゅうがくせい にほん き  
私は留学生として日本へ来た。  
あの人は学者としては立派だが、人間としては尊敬できない。  
かのじよ はは つま かんぺき  
彼女は母としても妻としても完璧だ。  
わたし す み  
私はテレビがあまり好きじゃない。見るとしてもニュースぐらいだ。

### 2 ～とともに

意味 ①と一緒に ②同時に ③一つの変化と一緒に、別の変化が起こる

接続 「名」＋とともに

例文 なつやす かぞく りょこう  
夏休みは、家族とともに旅行したい。  
かのじよ けっこん たいしよく  
彼女は結婚するとともに、退職した。  
じどうしゃ ふきゅう こうつう じこ ふ  
自動車が普及するとともに、交通事故も増えてきた。

### 3 ～において(は)/～においても/～における

意味 ～で(場所・時間を示す。)

接続 「名」＋において(は)/においても/における

例文 かいぎ だいいち かいぎしつ おこな  
会議は第一会議室において行われる。  
ちゅうごく わかも のはんざい ふ  
中国においても、若者の犯罪が増えている。  
わたし じんせい さいりょう ひ  
それは私の人生における最良の日であった。

### 4 ～に応じて/～に応じ/～に応じた

意味 ～にしたがって・～に適している

接続 「名」＋に応じて/に応じ/に応じた

例文 ほけんきん ひがいじょうきょう おう はら  
保険金は被害状況に応じて、払われる。  
きせつ おう からだ いろ か  
季節に応じ、体の色が変わる。  
むり たいりよく おう うんどう  
無理をしないで体力に応じた運動をしてください。

### 5 ～にかわって/～にかわり

意味 ①今までに使われていたものが別のものに変わることを表す。②他の人の変わりにすることを表す

接続 「名」＋にかわって/にかわり

例文 こゝでは、にんげん がかわってロボットがさぎょう  
ここでは、人間がかわってロボットが作業している。  
ちち わたし けっこんしき しゅつせき  
父にかわり、私が結婚式に出席した。

### 6 ～に比べて/～に比べ

意味 ～を基準にして程度の違いなどと言う。

接続 「名」+に比べて/に比べ

例文 <sup>あに</sup>兄に比べて、<sup>おとうと</sup>弟はよく勉強する。  
<sup>ことし</sup>今年は<sup>きょねん</sup>去年に比べ、<sup>あめ</sup>雨の<sup>りょう</sup>量が多い。

## 7 ～にしたがって/～にしたがい

意味 一方の変化とともに他方も変わることを表す。

接続 「動一辞書形」/「名」+にしたがって/にしたがい

例文 <sup>たか</sup>高く登るにしたがって、<sup>けしき</sup>景色がよくなった。  
<sup>こうぎょうか</sup>工業化が進むにしたがい、<sup>かんきょうはかい</sup>環境破壊が<sup>ひろ</sup>広がった。

## 8 ～につれて/～につれ

意味 一方の変化とともに他方も変わることを表す。

接続 「動一辞書形」/「名」+につれて/につれ

例文 <sup>ひんしつ</sup>品質がよくなるにつれて、<sup>ねだん</sup>値段が<sup>たか</sup>高くなる。  
<sup>じだい</sup>時代の変化につれ、<sup>へんか</sup>結婚の<sup>けっこん</sup>形も<sup>かたち</sup>変わってきた。

## 9 ～に対して/～に対し/～に対しても/～に対する

意味 ～に(対象・相手を示す。)

接続 「名」+に対して/に対し/に対しても/に対する

例文 <sup>きやくさま</sup>お客様に対して<sup>たい</sup>失礼なことを<sup>い</sup>言っ<sup>しつれい</sup>てはいけません。  
いいことをした人に対し、<sup>ひょうしょうじょう</sup>表彰状<sup>おく</sup>が贈られる。  
チンさんは日本の文化に対しても、<sup>きょうみ</sup>興味を持っている。  
<sup>ひがいしや</sup>被害者に対する<sup>ほしょうもんだい</sup>補償問題を<sup>けんとう</sup>検討する。

## 10 ～について/～につき/～についても/～についての

意味 話したり考えたりする内容を表す。

接続 「名」+について/につき/についても/についての

例文 日本の<sup>けいざい</sup>経済について<sup>けんきゅう</sup>研究しています。  
<sup>わ</sup>我が社の<sup>しや</sup>新製品につき、<sup>しんせいひん</sup>ご説明<sup>せつめい</sup>いたします。  
<sup>かれ</sup>彼は<sup>にほんご</sup>日本語が<sup>じょうず</sup>上手なうえ、<sup>にほん</sup>日本の<sup>れきし</sup>歴史についても<sup>くわ</sup>詳しい。  
コンピューターの<sup>つか</sup>使い方<sup>かた</sup>についての<sup>ほん</sup>本がほしい。

## 11 ～にとって(は)/～にとっても/～にとっての

意味 ～の立場からみると(後には判断や評価がくる)

接続 「名」+にとって(は)/にとっても/にとつての

例文 この<sup>しゃしん</sup>写真はわたしにとって、何よりも<sup>たいせつ</sup>大切なものだ。  
だれにとつても一番大切なのは<sup>けんこう</sup>健康です。  
環境問題は、<sup>もんだい</sup>人類<sup>じんるい</sup>にとつての<sup>かだい</sup>課題だ。

## 12 ～に伴って/～に伴い/～に伴う

意味 ①～にしたがって・～につれて ②～と一緒に(同時に起きる)

接続 「動一辞書形」/「名」+に伴って/に伴い/に伴う

例文 人口が増えるに伴って、いろいろな問題が起こってきた。

円高に伴い、来日する外国人旅行者が少なくなった。

自由には、それに伴う責任がある。

## 13 ～によって/～により/～による/～によつては

意味 ①動作の主体を示す。②原因・理由を表す。③手段・方法を表す。  
④～に応じて、それぞれに違うことを表す。⑤ある～の場合には

接続 「名」+によって/により/による/によつては

例文 アメリカ大陸はコロンブスによって発見された。

不注意により大事故が起こることもある。

バスによる移動は便利だが時間がかかる。

習慣は国によって違う。

この薬は人によつては副作用が出る場合があります。

## 14 ～によると/～によれば

意味 伝聞の根拠を示す。

接続 「名」+によると/によれば

例文 天気予報によると、あしたは雨が降るそうです。

友達の話によれば、あの映画はとても面白いということです。

## 15 ～を中心に(して)/～を中心として

意味 ～を真ん中にして・～を一番重要なものとして

接続 「名」+を中心に(して)/を中心として

例文 駅を中心にたくさんの商店が集まっている。

地球は太陽を中心に回っている。

## 16 ～を問わず/～は問わず

意味 ～に関係なく・～に影響されないで

接続 「名」+を問わず/は問わず

例文 留学生なら年齢を問わずだれでも申し込みます。

学歴、経験は問わず、やる気のある社員を募集します。

## 17 ～をはじめ/～をはじめとする

意味 一つの主な例を出す言い方。

接続 「名」＋をはじめ/をはじめとする

例文 日本には富士山をはじめたくさんの美しい山がある。  
市長をはじめとする視察団が被災地を訪れた。

## 18 ～をもとに/～をもとにして

意味 ～を判断の基準・材料などにして

接続 「名」＋をもとに/をもとにして

例文 ファンの人気投票をもとに、今年の人気歌手が決まります。  
この小説は事実をもとにして書かれたものです。

## 第Ⅱ部

## 19 ～うえ(に)

意味 ～だけでなく・～に加えて

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾型＋うえ(に)

例文 今年のインフルエンザは熱が出るうえ、せきもひどい。  
彼女は頭がいいうえに、性格もよい。  
この機械は使い方が簡単なうえに、軽いのでたいへん便利だ。  
このアルバイトは好条件のうえに通勤時間も短いので、ありがたい。

## 20 ～うちに/～ないうちに

意味 ①その間に(その状態が変わる前に何かをする。) ②～の間に(その間に始めはなかったことを起きる)

接続 「動－辞書形/ない形－ない」/「い形－い」/「な形－な」/「名－の」＋うちに

例文 日本にいるうちに、一度京都を訪ねたい。  
若いうちに、いろいろ経験したほうがいい。  
花がきれいなうちに、花見に行きたい。  
今日のうちに、旅行の準備をしておこう。  
彼女の話なみだを聞いているうちに、涙が出てきました。

## 21 ～おかげで/～おかげだ

意味 ～ために(それが原因で、いい結果になって感謝する気持ちを表す)

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾型＋おかげで/おかげだ

例文 技術が発達したおかげで、生活は便利になった。  
家が海に近いおかげで、新鮮な魚が食べられる。  
中国語が上手なおかげで、いい仕事が見つかった。  
仕事が早く済んだのは、山田さんのおかげだ。

## 22 ～かわりに

意味 ①～をしないで(それをしないで、別のことをする) ②～の代理で・～の代用として ③～に相当する分だけ

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾型＋かわりに

例文 おんがくかい  
音楽会に行くかわりに、CDを3枚買った。

病気の父のかわりに、わたしが行きました。

わたしが料理するかわりに、あなたは掃除してください。

この部屋は狭いかわりに、家賃が安い。

## 23 ～くらい/～ぐらい/～くらいだ/～ぐらいだ

意味 ①状態の程度を表す。 ②程度の軽いことを表す。

接続 「動一辞書形/ない形ーない」「い形ーい」「な形ーな」「名」＋くらい/ぐらい/くらいだ/ぐらいだ

例文 たな  
棚から物が落ちるくらい大きい地震があった。

この辺りは夜になると、寂しいくらい静かだ。

彼くらい日本語が話せれば、通訳ができるだろう。

忙しくても電話をかけるくらいはできたでしょう。

人に会ったら、あいさつぐらいしてほしい。

## 24 ～最中に/～最中だ

意味 何かをしているちょうどその時に

接続 「動ーている形」「名一の」＋最中に/最中だ

例文 試合の最中に、雨が降ってきた。

その事件については、今調査している最中だ。

## 25 ～次第

意味 ～したら、すぐ(～が終わったらすぐ後のことをすることを表す)

接続 「動ーます形」「名」＋次第

例文 新しい住所が決まり次第、連絡します。

12時に式が終わります。終了次第パーティーを始めます。

## 26 ～せいだ/～せいで/～せいか

意味 ために(それが原因で悪い結果になったことを表す)

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾型＋せいだ/せいで/せいか

例文 わたしが失敗したのは、彼のせいだ。

電車が遅れたせいで、遅刻した。

甘いものが好きなせいで、食べすぎて太ってしまった。

## 27 ～たとたん(に)

意味 ～するとすぐに

接続 「動ーた形」＋とたん(に)

例文 犯人は警察の姿を見た<sup>すがた</sup>とたん、逃げ出した。  
疲<sup>つか</sup>れていた<sup>ので</sup>、ベッドに入<sup>い</sup>ったとたん<sup>に</sup>、眠<sup>ねむ</sup>ってしまった。

## 28 ～たび(に)

意味 ～するときいつも

接続 「動一辞書形」/「名一の」+たび(に)

例文 その歌を歌うたび、大学<sup>だいがく</sup>のことを思い出す。  
わたしは旅行のたびに、絵葉書<sup>えはがき</sup>を買います。

## 29 ～て以来

意味 それから後ずっと

接続 「動一て形」+以来

例文 日本に来て以来、日本に対する考え方が少しずつ変わってきた。

## 30 ～とおりに(に)/～どおり(に)

意味 ～と同じに

接続 ①「動一辞書形/た形」/「名一の」+とおりに(に) ②「名」+どおり(に)

例文 あの人の言ったとおりにすれば、大丈夫です。  
矢印<sup>やじるし</sup>のとおり<sup>すす</sup>に進んでください。  
予想<sup>よそう</sup>どおり、Aチームが優勝<sup>ゆうしょう</sup>した。

## 31 ～ところに/～ところへ/～ところを

意味 そういう時に/そういう場へ/そういう場面を

接続 「動一辞書形/た形/ている形」/「い形一い」+ところに/ところへ/ところを

例文 ちょうどキムさんのうわさをしているところに、本人<sup>ほんにん</sup>がやって来た。  
これから寝ようとしたところへ、友達<sup>たず</sup>が訪ねてきた。  
たばこを吸っているところを、妹に見られた。  
いいところへ来ましたね。今ちょうどすいか<sup>き</sup>を切ったんです。

## 32 ～ほど/～ほどだ/～ほどの

意味 ①～くらい(状態の程度を表す) ②～が一番…だ(～ほど…はない)

接続 「動一辞書形/ない形一ない」/「い形一い」/「な形一な」/「名」+ほど/ほどだ/ほどの

例文 涙<sup>なみだ</sup>がで<sup>で</sup>るほど痛<sup>いた</sup>かった。  
わたしにも言<sup>や</sup>いたいことが山ほどある。  
子供<sup>こ</sup>をなくしたご両親<sup>かな</sup>の悲<sup>かな</sup>しみが痛いほどわかる。  
彼女ほど頭のいい人<sup>ひと</sup>には会<sup>あ</sup>ったことがない。  
仲<sup>なか</sup>のいい友達と旅行するほど楽しいことはない。

### 33 ～ばかりに

意味 ～だけのために(それだけが原因で悪い結果になった残念な気持ちを表す)

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾型＋ばかりに

例文 うそをついたばかりに恋人に嫌<sup>きら</sup>われた。

お金がないばかりに大学に進<sup>しんがく</sup>学できなかった。

日本語が下手なばかりに、いいアルバイトが見<sup>み</sup>つからない。

長女<sup>ちやうじよ</sup>であるばかりに、弟や妹の世<sup>せわ</sup>話をしなければならぬ。

### 34 ～ものだから

意味 ～ので(理由。言い訳の時よく使う。)

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾型＋ものだから

例文 事故で電車が遅<sup>おく</sup>れたものだから、遅<sup>おそ</sup>くなった。

家が狭<sup>かぎ</sup>いものだから、大きい家具は置<sup>お</sup>けません。

一人っ子<sup>ひとりこ</sup>なものだから、わがままに育<sup>そだ</sup>てました。

あの映画の主人公<sup>しゅじんこう</sup>が大好き<sup>だいす</sup>きなものだから、もう何度もみました。

### 35 ～ように/～ような

意味 例を表す(のように)。

接続 「動、名」の名詞修飾型＋ように/ような

例文 ここに書いてあるように申し込<sup>もうこ</sup>み書<sup>しよ</sup>に記入<sup>きにゆう</sup>してください。

ケーキのような甘いものはあまり好きではありません。

意味 目標を表す(ないように)。

接続 「動一辞書形/ない形一ない」＋ように/ような

例文 予定どおり終わるように計<sup>けいかく</sup>画<sup>た</sup>を立ててください。

風邪を引かないように気をつけてください。

## 第Ⅲ部

### 36 ～一方だ

意味 その傾向がますます進むことを表す。

接続 「動一辞書形」＋一方だ

例文 最近、パソコンの利用者<sup>りようしゃ</sup>は増<sup>ふ</sup>える一方だ。

最近英語を使<sup>つか</sup>わないので、忘<sup>わす</sup>れる一方<sup>こま</sup>で困っている。

### 37 ～おそれがある

意味 ～する心配がある

接続 「動一辞書形」/「名一の」＋おそれがある

例文 早く手<sup>しゅじゆつ</sup>術しないと、手遅<sup>ておく</sup>れになるおそれがある。

この病気は伝染のおそれがある。

こんなに赤字が続くと、この会社は倒産のおそれがある。

### 38 ～ことになっている

意味 予定・規則などを表す(規則の意味の時は、禁止・許可の表現と一緒に使われることが多い)

接続 「動一辞書形/ない形一ない」/「い形一い」+ことになっている

例文 今度の日曜日には、友達と会うことになっています。

この寮では、玄関は12時に閉まることになっている。

法律で、子供を働かせてはいけないことになっている。

この席はたばこを吸ってもいいことになっている。

### 39 ～ことはない

意味 ～する必要はない

接続 「動一辞書形」+ことはない

例文 時間は十分あるから、急ぐことはない。

検査の結果、異常ありませんでしたから心配することはありませんよ。

### 40 ～しかない

意味 ～他に方法がない・～しなければならない

接続 「動一辞書形」+しかない

例文 事故で電車が動かないから、歩いて行くしかない。

だれにも頼めないから、自分でやるしかありません。

### 41 ～ということだ

意味 ①～ということを聞いた(伝聞。聞いたことをそのまま引用する言い方) ②～という意味だ

接続 「動、い形、な形、名」の普通形+ということだ

例文 アメリカの大統領が中国を訪問するということだ。

事故の原因はまだわからないということだ。

天気予報によると今年は雨が多いということです。

A社の就職には推薦状が必要だということだ。

ご意見がないということは賛成ということですね。

### 42 ～まい/～まいか

意味 ①～ないだろう(否定の推量を表す。) ②絶対～するのをやめろ(否定の意志を表す。)

I 類: 「動一辞書形」+まい 書く→書くまい  
接続 II 類: 「動一辞書形」+まい 或は「動一ます形」+まい 売れる→売れるまい、売れまい  
III 類: する(しまい、すまい、するまい) 来る(こまい、くるまい)

例文 あの問題は容易に解決するまいと思うが、解決への努力が必要だ。

彼はベテランの登山家だから、あんな低い山で遭難することはないまい。



こんなまずいレストランへは二度<sup>にど</sup>と来るまい。

ケーキは買うまいと思っても、見るとつい買ってしま<sup>か</sup>う。

### 43 ～わけがない/～わけはない

意味 ～(の)はずがない

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾型＋わけがない/わけはない

例文 あんな下手な絵が売<sup>う</sup>れるわけがない。

あんなやせた人が、相撲<sup>すもう</sup>とりのわけがない。

ここは海から遠いので、魚が新鮮<sup>しんせん</sup>なわけはない。

### 44 ～わけにはいかない/～わけにもいかない

意味 ①理由があって～できない ②～しなければならない

接続 ①「動一辞書形」＋わけにはいかない/わけにもいかない  
②「動一ない形一ない」＋わけにはいかない/わけにもいかない

例文 帰<sup>きこく</sup>りたいけれども、この論文<sup>ろんぶん</sup>が完成<sup>かんせい</sup>するまでは帰国するわけにはいかない。

一人でやるのは大変ですが、みんな忙しそうなので、手伝ってもら<sup>きこく</sup>うわけにもいきません。

あした試験があるので、勉強しないわけにはいきません。

家族<sup>かぞく</sup>がいるから、働<sup>はたら</sup>かないわけにはいかない。

## 第IV部

### 45 ～から～にかけて

意味 ～から～までの間に(時間・場所の大体の範囲を表す)

接続 「名」＋から「名」＋にかけて

例文 昨夜<sup>さくや</sup>から今朝<sup>けさ</sup>にかけて雨が降りました。

台風は毎年、夏から秋にかけて日本<sup>おそ</sup>を襲う。

関東<sup>かんとう</sup>地方から東北<sup>とうほく</sup>地方<sup>ちほう</sup>にかけて、大きな地震があつた。

1丁目<sup>いちちょうめ</sup>から3丁目にかけて、道路<sup>どうろ</sup>工事<sup>こうじ</sup>が行<sup>おこな</sup>われている。

### 46 たとえ～ても/たとえ～でも

意味 もし～ても

接続 たとえ＋「動一ても」/「い形一くても」/「な形一でも」/「名一でも」

例文 自分で決めた道だから、たとえ失敗<sup>こうかい</sup>しても後悔しない。

たとえ難しくてもやりがいのある仕事をしたい。

この仕事は、たとえ困難<sup>こんなん</sup>でも最後まで頑張<sup>がんば</sup>る。

たとえお世辞<sup>せじ</sup>でも、子供をほめられれば親<sup>おや</sup>はうれしいものだ。

### 47 ～さえ～ば

意味 それだけあれば/なければ、後ろの状態が成立する

- 接続 ①「動一ます形」+さえ+すれば/しなければ  
②「い形ーく」/「な形ーで」/「名ーで」+さえ+あれば/なければ  
③「名」+さえ+「動一ば」/「い形ーければ」/「な形ーなら」/「名ーなら」

例文 インスタントラーメンはお湯を入れさえすれば食べられる便利な食品だ。  
道が込みさえしなければ、駅までタクシーで10分ぐらい。  
交通が便利でさえあれば、この辺も住みやすいのだ。  
建設的なご意見でさえあれば、どんな小さなものでも大歓迎です。  
住所さえわかれば、地図で探して行きます。  
ご都合さえよければ、今度の日曜日のコンサートのチケットを買っておきます。  
体さえ大丈夫なら、どんな苦勞にも耐えられると思う。

## 48 ～も～ば～も/～も～なら～も

意味 ～も～し、～も(前に述べたことの上に後のことを加える時の表現。プラスとプラス、またはマイナスとマイナスの言葉が使われる)

接続 「名」+も+「動一ば」/「い形ーければ」/「な形ーなら」+「名」+も

例文 父はお酒も飲めばたばこも吸うので、健康が心配だ。  
新しきできたレストランは値段も安ければ味もいいと評判です。  
彼は歌も上手なら踊りもうまい、パーティーの人気者だ。

## 49 ～やら～やら

意味 ～や～など

接続 「動一辞書形」/「い形ーい」/「名」+やら「動一辞書形」/「い形ーい」/「名」+やら

例文 帰国前は飛行機の予約をするやらおみやげを買うやらで忙しい。  
お酒を飲みすぎて、頭が痛いやら苦しいやらで、大変だった。  
部屋を借りるのに敷金やら礼金やら、たくさんお金を使った。

## 50 ～だらけ

意味 ～がたくさんある・～がたくさんついている(汚いもの、嫌なものがたくさんあったり、表面についたりしていることを表す)

接続 「名」+だらけ

例文 このレポートは字が間違いだらけで読みにくい。  
事故現場に血だらけの人が倒れている。

## 51 ～っぽい

意味 ～のように感じる・～のように見える

接続 「い形ー〇」/「名」+っぽい

例文 このテーブルは高いのに安っぽく見える。  
あの子はまだ中学生なのに、とても大人っぽい。

意味 ～しやすい・よく～する

接続 「動一ます形」+っぽい

例文 彼は怒り<sup>おこ</sup>っぽいけれど、本当は優しい人です。  
最近忘れっぽくなったのは、年のせいだろう。

## 52 ～がたい

意味 ～するのは難しい・なかなか～することができない

接続 「動一ます形」+がたい

例文 彼女はそんなことをするとは、信じ<sup>しん</sup>がたい。  
あした帰国するが、仲良<sup>なかよ</sup>くなった友達と別れ<sup>わか</sup>がたい気持ちで一杯<sup>いっぱい</sup>だ。

## 53 ～がちだ/～がちの

意味 ～することが多い・～しやすい(悪い意味で使われることが多い)

接続 「動一ます形」/「名」+がちだ/がちの

例文 雪が降ると、電車は遅れがちだ。  
彼は最近、体調を崩<sup>くず</sup>して、日本語のクラスを休みがちです。  
母は病気がちなので、あまり働けない。

## 54 ～気味<sup>ぎみ</sup>(ぎみ)

意味 少し～の感じがある

接続 「動一ます形」/「名」+気味

例文 仕事が忙しくて、最近少し疲れ<sup>ぎみ</sup>気味だ。  
このごろ、太<sup>ふと</sup>り気味だから、ジョギングを始めた。  
「日本語能力試験」が近づいたので、焦<sup>あせ</sup>り<sup>ぎみ</sup>気味だ。  
昨日から風邪気味で、頭が痛い。

## 55 ～げ

意味 ～そう(見てその人の気持ちが感じられる様子を表す。「～げ」は「な形容詞」になる。)

接続 「い形一〇」/「な形一〇」+げ

例文 彼女は悲<sup>かな</sup>しげな様子<sup>ようす</sup>で話した。  
彼<sup>かれ</sup>が何か言いたげ<sup>ちか</sup>に近づいて来た。  
彼は得意<sup>とくい</sup>げな顔で、みんなに新しい家を見せた。

## 56 ～かけだ/～かけの/～かける

意味 ～し始めて、まだ～終わっていない途中の状態を表す。

接続 「動一ます形」+かけだ/かけの/かける

例文 この仕事はやりかけですから、そのままにしておいてください。  
テーブルの上に飲みかけのコーヒーが置いてある。

何か言いかけてやめるのはよくない。

わたしは子供のころ、病気で死<sup>し</sup>にかけたことがあるそうだ。

## 57 ～きる/～きれる/～きれない

意味 すっかり～する/最後まで～できる/最後まで～できない

接続 「動一ます形」+きる/きれる/きれない

例文 <sup>きむら</sup>木村さんは疲れきった顔をして帰って来た。

42. 195キロを走り<sup>はし</sup>きるのは大変なことだ。

そんなにたくさん食べきれますか。

<sup>かぞ</sup>数えきれないほどたくさん<sup>ひか</sup>の星が光っている。

## 58 ～ぬく

意味 ①最後までがんばって～する ②非常に～する

接続 「動一ます形」+ぬく

例文 マラソンは<sup>はじ</sup>初めて<sup>はし</sup>だったが42.195キロを走りぬいた。

<sup>りょう</sup>すごい<sup>ほんやく</sup>量の<sup>しごと</sup>翻訳仕事だったが、やりぬいた。

ジョンさんは、<sup>こま</sup>困りぬいて<sup>りょうしん</sup>両親と<sup>そうだん</sup>相談することにした。

<sup>かんが</sup>考えぬいた<sup>けっか</sup>結果、<sup>かれ</sup>彼との<sup>けっこん</sup>結婚を<sup>き</sup>決めた。

## 第V部

## 59 ～こそ/～からこそ

意味 強調を表す

接続 ①「名」+こそ ②「動、い形、な形、名」の普通形+からこそ

例文 これこそみんなが欲しいと思っていた<sup>せいひん</sup>製品です。

あなたが手伝ってくれたからこそ、仕事が早くできた。

## 60 ～さえ/でさえ

意味 ～も・～でも(特に、ある極端なものを例に出して、他のものも、「もちろん～」というときに使う)  
(※名詞に「さえ」がつくと、助詞の「が」と「を」は省略される。その他の助詞は省略されない)

接続 「名」+さえ/でさえ

例文 そこは電気さえない山奥<sup>やまおく</sup>(深山)だ。

<sup>せんもんか</sup>専門家<sup>むり</sup>でさえわからないのだから、わたしたちには無理でしょう。

<sup>おや</sup>親にさえ相談しないで、結婚を決めた。

わたしの<sup>こきょう</sup>故郷は地図にさえ書いてない<sup>ちい</sup>小さな<sup>むら</sup>村です。

## 61 ～など/～なんて/～なんか

意味 ①例としてあげ、表現を軽く、柔らかくしたい時に使う。 ②あまりたいしたものではない軽視した気持ちや否定的に言うときに使う。

接続 「名」+など/なんて/なんか

例文 「この<sup>きかい</sup>機械に詳しい人はいませんか。」「彼など詳しいと思いますよ。」  
ネクタイなんかしめて、どこ行くの。  
お<sup>みま</sup>見舞いならカーネーションなんてどうかしら。  
忙しくて、テレビなど見てられない。  
本当です。うそなんかつきませんよ。  
スキーなんて簡単ですよ。だれもすぐできるようになります。

## 62 ～に<sup>かん</sup>関して(は)/～に<sup>かん</sup>関しても/～に<sup>かん</sup>関する

意味 ～について(の)

接続 「名」+に<sup>かん</sup>関して(は)/に<sup>かん</sup>関しても/に<sup>かん</sup>関する

例文 計画変更<sup>かん</sup>に<sup>かん</sup>関しては、検討する必要がある。  
外国へ行くなら言葉だけでなく、習慣<sup>かん</sup>に<sup>かん</sup>関しても知っておいたほうがいい。  
経済<sup>かん</sup>に<sup>かん</sup>関する本はたくさんある。

## 63 ～に<sup>くわ</sup>加えて/～に<sup>くわ</sup>加え

意味 ～のうえにさらに

接続 「名」+に<sup>くわ</sup>加えて/に<sup>くわ</sup>加え

例文 電気代<sup>でんきだい</sup>に<sup>くわ</sup>加えて、ガス代<sup>だい</sup>まで値上<sup>ねあ</sup>がりした。  
大気汚染<sup>たいき おせん</sup>が<sup>すす</sup>進んでいること<sup>すす</sup>に<sup>くわ</sup>加え、海洋汚染<sup>かいよう おせん</sup>も深刻<sup>しんこく</sup>してきた。

## 64 ～に<sup>こた</sup>こたえて/～に<sup>こた</sup>こたえ/～に<sup>こた</sup>こたえる/～に<sup>こた</sup>こたえた

意味 ～に応じて(ほかからの働きかけに応じて。)

接続 「名」+に<sup>こた</sup>こたえて/に<sup>こた</sup>こたえ/に<sup>こた</sup>こたえる/に<sup>こた</sup>こたえた

例文 社員<sup>ようきゅう</sup>の要求<sup>ようきゅう</sup>に<sup>こた</sup>こたえて、労働時間<sup>ろうどう かんじゆく</sup>を短縮<sup>たんしゆく</sup>した。  
国民<sup>こくみん</sup>の<sup>こえ</sup>声<sup>こえ</sup>に<sup>こた</sup>こたえた政策<sup>せいさく</sup>が<sup>きたい</sup>期待<sup>きたい</sup>されている。

## 65 ～に<sup>そ</sup>沿って/～に<sup>そ</sup>沿い/～に<sup>そ</sup>沿う/～に<sup>そ</sup>沿った

意味 ～にしたがって・～のとおり

接続 「名」+に<sup>そ</sup>沿って/に<sup>そ</sup>沿い/に<sup>そ</sup>沿う/に<sup>そ</sup>沿った

例文 決まった方針<sup>ほうしん</sup>に<sup>そ</sup>沿って、新しい計画<sup>けい画</sup>を立てましょう。  
皆様のご希望<sup>きぼう</sup>に<sup>そ</sup>沿う結果<sup>けつ</sup>が<sup>そ</sup>出るように努力<sup>にくり</sup>いたします。

## 66 ～に<sup>はん</sup>反して/～に<sup>はん</sup>反し/～に<sup>はん</sup>反する/～に<sup>はん</sup>反した

意味 ～と反対に・～と逆に

接続 「名」+に<sup>はん</sup>反して/に<sup>はん</sup>反し/に<sup>はん</sup>反する/に<sup>はん</sup>反した

例文 人々の予想<sup>はん</sup>に<sup>はん</sup>反し、土地<sup>とち</sup>の値段<sup>ねだん</sup>が<sup>さ</sup>下がり<sup>つづ</sup>続けている。  
予想<sup>はん</sup>に<sup>はん</sup>反した実験結果<sup>じけん</sup>が出た。

## 67 ～に基づいて/～に基づき/～に基づく/～に基づいた

意味 ～を基礎にして・～を根拠にして

接続 「名」+に基づいて/に基づき/に基づく/に基づいた

例文 調査した資料に基づいて、レポートを書いた。  
実際<sup>じっさい</sup>にあった事件<sup>じけん</sup>に基づき、この映画が作られた。

## 68 ～にわたって/～にわたり/～にわたる/～にわたった

意味 時間的・空間的にその範囲全体に広がっていることを表す。

接続 「名」+にわたって/にわたり/にわたる/にわたった

例文 チンさんは病気のため、2か月にわたって学校を休んだ。  
日本全域<sup>ぜんいき</sup>にわたり、台風<sup>ひがい</sup>の被害を受けた。  
兄は5時間にわたる大手術<sup>だいしゅじゅつ</sup>を受けた。  
広範囲<sup>こうはんい</sup>にわたった海<sup>かい</sup>の汚染<sup>おせん</sup>が、問題になっている。

## 69 ～ばかりか/～ばかりでなく

意味 ～だけでなく・その上

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾型+ばかりか/ばかりでなく

例文 林さんのお宅<sup>たく</sup>でごちそうになったばかりか、おみやげまでいただいた。  
アンナさんは頭がいいばかりでなく、親切で心の優しい人です。  
この地方<sup>ちほう</sup>は気候<sup>きこう</sup>が穏やか<sup>おだ</sup>なばかりでなく、景色<sup>けしき</sup>もいいです。  
彼はサッカーばかりでなく、水泳<sup>すいえい</sup>もダンスも上手なんですよ。

## 70 ～はもとより/～はもちろん

意味 ～は、言う必要がないくらい当然で(「～はもちろん」に比べて、「～はもとより」のほうが改まった言い方)

接続 「名」+はもとより/はもちろん

例文 わたしが生まれた村は、電車はもとより、バスも通<sup>とお</sup>っていない。  
病気<sup>びょうき</sup>の治療<sup>ちりょう</sup>はもちろん、予防<sup>よぼう</sup>のための医学<sup>いがく</sup>も重要<sup>じゅうよう</sup>だ。

## 71 ～もかまわず

意味 ～を気にしないで・～に気を使わず平気で

接続 「名」+もかまわず

例文 人の迷惑<sup>めいわく</sup>もかまわず、電車の中で携帯電話で話している人がいる。  
子供<sup>こども</sup>は服<sup>ふく</sup>がねれるのもかまわず、川の中に入って遊<sup>あそ</sup>んでいる。

## 72 ～をこめて

意味 気持ちをその中に入れて

接続 「名」+をこめて

例文 母はわたしのために心をこめて、料理<sup>りょうり</sup>をつく<sup>つく</sup>ってくれた。

おこ 怒りをこめて、核実験<sup>かくじっけん</sup>反対<sup>はんたい</sup>の署名<sup>しよめい</sup>をした。

病氣回復の祈りをこめて、みんなで鶴を折った。

73 ～を<sup>つう</sup>じて/～を<sup>とお</sup>して

意味 ①その期間始めから終わりまでずっと ②直接ではなく、何かを間に入れて

接続 「名」+をを通じて/を通して

例文 あの地方は、1年を<sup>つう</sup>じて雨が多い。

彼は一生をとお通して日本との友好のゆうこうのために働いた。

社長は忙しいから、秘書<sup>ひしょ</sup>を通じて頼<sup>たの</sup>んだほうがいい。

今はインターネットをとおして世界中の情報が手に入る。

74 ～をめぐって/～をめぐる

意味 ～を中心にそれに関係あることについて

接続 「名」+をめぐって/をめぐる

例文 その事件<sup>じけん</sup>をめぐって、さまざま<sup>な</sup>うわさが流れている。

この小説は、1人の女性をめぐって、5人の男性が戦う話です。

## 第Ⅵ部

75 ～あまり

意味 非常に～する

接続 「動-ます形/た形」/「な形-な」/「名-の」+あまり

例文 こどもの<sup>しょうらい</sup>将来を思うあまり、<sup>きび</sup>厳しすぎることを言ってしまった。

かがくしゃ　こばやし　じっけん　ねっしん　ちゅうしょく  
科学者である小林さんは実験に熱心なあまり、昼食をとるのを忘れることもしばしばある。

おどろ  
驚きのあまり、声も出なかった。

76 ～一方／～一方で(は)

意味 ～のに対して(対比を表す。)

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾型＋一方/～一方で(は)(※「な形一である」「名一である」も使う)

例文 わたしの仕事は夏は<sup>ひじょう</sup>非常に忙しい<sup>いっぽう</sup>一方、冬は暇になる。

A国は資源が豊かな一方で、それを活用できる技術がない。

彼女は女優として活躍する一方で、親善大使として世界中をまわっている。

地球上には豊かな人がいる一方では、明日の食べ物もない人がいる。

77 ～<sup>うえ</sup>で(は)/～<sup>うえ</sup>の/～<sup>うえ</sup>でも/～<sup>うえ</sup>での

意味 ～してから

接続 「動一た形」/「名一の」+上で(は)/上の/上でも/上での

例文 みんなの意見<sup>いけん</sup>を聞いた上で決めました。

内容をご確認の上で、サインをお願いいたします。

意味 その時、その場面、その条件の範囲で～だ、と言いたい時に使う。

接続 「動一辞書形」/「名一の」+上で(は)/上の/上でも/上での

例文 日本の会社で働く<sup>はたら</sup>上で、注意<sup>ちゅうい</sup>しなければならないことは何でしょうか。  
法律の上では平等<sup>びやうどう</sup>でも、現実<sup>げんじつ</sup>には不平等<sup>ふびやうどう</sup>なことがある。

## 78 ～かぎり(は)/～かぎりでは/～ないかぎり(は)

意味 ～する間は・～するうちは

接続 「動一辞書形」/「い形一い」/「な形一な」/「名一の/である」+かぎり(は)

例文 学生であるかぎり、勉強<sup>とうぜん</sup>するのは当然だ。  
父<sup>ちち</sup>は元気なかぎり<sup>はたら</sup>は、働きたいと言っている。

意味 範囲を示す。

接続 「動一辞書形/た形」+かぎりでは

例文 電話で話したかぎりでは、彼はそんなに怒<sup>おこ</sup>っていませんでしたよ。

意味 限界まで

接続 「動一辞書形」/「名一の」+かぎり

例文 時間<sup>ゆる</sup>の許<sup>はな</sup>すかぎり、話し合<sup>あ</sup>いを続<sup>つづ</sup>けましょう。  
力<sup>ちから</sup>のかぎりがんばろう。

意味 ～なければ

接続 「動一ない形」/「い形一く」/「な形一で」/「名一で」+ないかぎり(は)

例文 来週、仕事が忙しくないかぎり、クラス会に参加したい。  
雨や雪が降らないかぎり、毎日ジョギングをします。

## 79 ～(か)と思うと/～(か)と思ったら

意味 ～するとすぐ

接続 「動一た形」+(か)と思うと/(か)と思ったら

例文 リーさんは「さようなら」と言ったかと思うと教室<sup>と</sup>を飛び出<sup>だ</sup>した。  
ドン<sup>おと</sup>と音がしたと思ったら、トラックがへいにぶつかった。

## 80 ～か～ないかのうちに

意味 ～とほぼ同時に(一つのことが終わったかどうかははっきりしないうちに、続いてすぐ次のことが起きる)

接続 「動一辞書形/た形」+か+「動一ない形」+ないかのうちに

例文 チャイムが鳴<sup>な</sup>るか鳴<sup>な</sup>らないかのうちに、先生が教室に入って来た。  
空<sup>そら</sup>が暗<sup>くら</sup>くなったかならないかのうちに、雨<sup>あめ</sup>が降<sup>ふ</sup>り出<sup>だ</sup>した。



## 81 ～からいうと/～からいえば/～からいって

意味 ～の点で見ると

接続 「名」+からいうと/からいえば/からいって

例文 中国は人口<sup>じんこう</sup>からいうと世界<sup>せかい</sup>一だが、人口密度<sup>じんこう みつど</sup>は日本よりずっと低い。  
品質<sup>ひんしつ</sup>からいえば、これが一番いいけれど、値段<sup>ねだん</sup>がちよっと高い。  
実力<sup>じつりょく</sup>からいって、彼女<sup>かのじょ</sup>が入賞<sup>にゅうしょう</sup>することは間違いない。

## 82 ～からといって

意味 ～だけの理由で(後ろに否定的な表現が来ることが多い)

接続 「動、い形、な形、名」の普通形+からといって

例文 お金があるからといって偉<sup>えら</sup>いわけではない。  
安いからといって、そんなにたくさん買ってもむだだ。  
子どもだからといって、わがままを許<sup>ゆる</sup>すのは教育上<sup>きょういくじょう</sup>よくない。

## 83 ～から見ると/～から見れば/～から見て(も)

意味 ～から考えると

接続 「名」+から見ると/から見れば/から見て(も)

例文 今の成績<sup>せいせき</sup>から見ると、大学への合格<sup>ごうかく</sup>は難<sup>むずか</sup>しいと思う。  
昨日<sup>けふ</sup>の首相<sup>しゅしょう</sup>の発言<sup>はつげん</sup>から見れば、彼はこの法案<sup>ほうあん</sup>に否定的<sup>ひていてき</sup>な考えを持っているようだ。  
どこから見ても、あの人は紳士<sup>しんし</sup>だ。

## 84 ～きり(だ)

意味 ～だけ

接続 「動一辞書形/た形」/「名」+きり(だ)

例文 彼女は、何を聞いても笑<sup>わら</sup>っているきりで、答えない。  
今朝<sup>けさ</sup>コーヒーを飲<sup>の</sup>んだきりで、何も食<sup>く</sup>べていない。  
子供<sup>こども</sup>たちが独立<sup>どくりつ</sup>してから、夫婦<sup>ふうふ</sup>二人<sup>ふたり</sup>きりの生活です。

意味 ～たままの状態が続いている

接続 「動一た形」+きり(だ)

例文 寝<sup>ね</sup>たきり老人が増えている。

## 85 ～くせに

意味 ～のに・～にもかかわらず(軽蔑・非難する気持ちを表す)

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾型+くせに

例文 よく知らないくせに、あの人は何でも説明したがる。  
彼は、若いくせにすぐ疲れたと言う。  
父は下手なくせにカラオケが大好きなんです。

彼は学生のくせに高級車こうきゅうしゃに乗っている。

## 86 ～ことから

意味 ので(その理由を述べて後ろの文の根拠を示す)

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾型＋ことから

例文 二人ふたりがいっしょに仕事をしたことから、交際こうさいが始まった。

この鳥は目のまわりが白いことから、メジロと呼ばれている。

この村の老人ろうじんが皆元気なことから、村の食習慣しょくしゅうかんが体にいいと考えられている。

## 87 ～ことに(は)

意味 話者の気持ち・感情を先に述べて強調する時に使う

接続 「動一た形」/「い形一い」/「な形一な」＋ことに(は)

例文 驚おどろいたことに、わたしの祖父そふと恋人こいびとのおじいさんは小学校時代じだいの友達だったそうだ。

ありがたいことに、奨学金しょうがくきんがもらえることになった。

火事かじになったが、幸さいわいなことには火はすぐ消し止められた。

## 88 ～上(じょう)(は)/～上も/～上の

意味 ～の視点から考えて

接続 「名」＋上(は)/上も/上の

例文 これは理論上りろん じょうは可能だが、実用化じつようかには時間がかかりそうだ。

男女差別だんじょ さべつは法律上ほうりつじょうも許ゆるされない。

健康上けんこうじょうの理由で会社やを辞めた。

## 89 ～た末(に)/～た末の/～の末(に)

意味 長い間～をしたあとで

接続 「動一た形」＋末(に)/末の

例文 いろいろ考えた末すえ、会社を辞めることにした。

苦労くろうした末すえの成功は、何よりもうれしいものだ。

長期ちようきにわたる議論ぎろんの末すえに、入試制度にゅうし せいどが改革かいかくされることになった。

## 90 ～たところ

意味 ～たら(あることをしたら、その結果がどうなったかを表す表現)

接続 「動一た形」＋ところ

例文 新しいワープロを使ってみたところ、とても使いやすかった。

コンピューターが動うごかず、どうしていいか困っていたところ、山田さんやまだが助たすけてくれた。

## 91 ～ついでに

意味 あることをする時にその機会を利用してもう一つのこともすることを表す。

接続 「動一辞書形/た形」/「名一の」+ついでに

例文 銀行へ行くついでにこの手紙を出してくれませんか。

デパートへ買い物に行ったついでに、着物の<sup>きもの</sup>展示会<sup>てんじかい</sup>を見た。

買い物のついでに<sup>ほんや</sup>本屋<sup>よ</sup>に寄った。

## 92 ～というと/～といえば

意味 その話題に関係する代表的なものをとりあげる時に使う

接続 「名」+というと/といえば

例文 スポーツの<sup>さいてん</sup>祭典という、まずオリンピックですね。

意味 ある話題から思い出したこと、連想したことをとりあげる時に使う

接続 「動、い形、な形、名」の普通形+といえば

例文 イタリアといえば、パスポートを<sup>お</sup>落として困ったことを<sup>おも</sup>思い出します<sup>だ</sup>。

## 93 ～といたら

意味 感嘆・驚き・期待はずれの感情(プラス、マイナスの両方)を表す。

接続 「名」+といたら

例文 <sup>むすこ</sup>息子の<sup>きたな</sup>部屋の汚いことといたら、ひどいものです。

<sup>けしき</sup>その景色の<sup>うつく</sup>美しさ<sup>い</sup>といたら、口で<sup>あらわ</sup>言い表せないほどです。

## 94 ～というより

意味 ～だが、それよりむしろ～といったほうが適切だと言い直す時に使う。

接続 「動、い形、な形、名」の普通形+というより

例文 彼の<sup>い</sup>言い方は<sup>かた</sup>進めて<sup>すす</sup>いるというより、<sup>きようせい</sup>強制しているようだ。

<sup>れいぼう</sup>冷房が<sup>すず</sup>ききすぎて、<sup>すず</sup>涼しいというより寒い。

あの人は<sup>じょうひん</sup>きれいというより上品だ。

あの人は<sup>がくしゃ</sup>学者というよりタレントだ。

## 95 ～ば～ほど

意味 一方の程度が高くなると、もう一方の程度も高くなる

「動一ば」+「動一辞書形」+ほど

接続 「い形一ければ」+「い形一い」+ほど

「な形一なら/であれば」+「な形一な/である」+ほど

「名一なら/であれば」+「名一である」+ほど

例文 <sup>れんしゅう</sup>練習すればするほど上手になります。

<sup>きゅうりょう</sup>給料は高ければ高いほどいいですね！

<sup>かてい</sup>家庭の<sup>でんき</sup>電気製品は<sup>せいひん</sup>操作が<sup>そうさ</sup>簡単なら簡単なほどいい。

<sup>ゆうめいじん</sup>有名人であればあるほどストレスも大きいのではないだろうか。

## 96 ～ほど

意味 一方の程度が変わると、一緒に他方の程度も変化する。

接続 「動一辞書形」/「い形ーい」/「な形ーな」/「名」+ほど

例文 すもう 相撲では、太っているほど有利だ。

値段が高いほど品物<sup>しなもの</sup>がいいとは限らない。

推理小説<sup>すいりしょうせつ</sup>は複雑<sup>ふくざつ</sup>なほど面白<sup>おもしろ</sup>い。

## 第Ⅳ部

## 97 ～かのようにだ/～かのような/～かのように

意味 実際にはそうではないが、～のようにだ

接続 「動、い形、な形、名」の普通形+かのようにだ/かのような/かのように(※「な形ーだ」「名ーだ」は「な形ーである」「名ーである」となるが、「である」がない場合もある)

例文 はげ 激しい雨と風は、まるで台風<sup>たいふう</sup>が来たかのようにだ。

不動産屋<sup>ふどうさんや</sup>は、その土地<sup>どち</sup>が交通<sup>こうつう</sup>の便<sup>びん</sup>がいいかのように宣伝<sup>せんでん</sup>していた。

1か月ぶりに会った彼は、病気だったかのようにやつれていた。

彼は自分の考え<sup>けがえ</sup>が絶対<sup>ぜったい</sup>であるかのように主張<sup>しゅちよう</sup>して譲<sup>ゆず</sup>らない。

## 98 ～つつある

意味 (だんだん)～ている (※主に書き言葉で使われる)

接続 「動一ます形」+つつある

例文 けいき 景気は徐徐<sup>じょじょ</sup>に回復<sup>かいふく</sup>しつつある。

問題は改善<sup>かいぜん</sup>されつつあるが、時間<sup>じかん</sup>がかかりそうだ。

## 99 ～てたまらない/～てしょうがない/～てしかたがない

意味 非常に～(前に感情・感覚を表す言葉がきて、それを押さえられない様子を表す)

接続 「動一て形」/「い形ーくて」/「な形ーで」+たまらない/しょうがない/しかたがない

例文 ずつう 頭痛<sup>ずつう</sup>がしてたまらないので、近くの病院<sup>びやういん</sup>に行った。

大学<sup>だいがく</sup>に合格<sup>ごうかく</sup>して、うれしくてたまらない。

買ったばかりの時計<sup>とけい</sup>をなくしてしまって、残念<sup>ざんねん</sup>でたまらない。

ビデオカメラが欲<sup>ほ</sup>しくてしょうがない。

## 100 ～てならない

意味 非常に～(ある気持ちが自然に強くなってくる状態を表す、「思える」「思い出される」などの自発の動詞の場合は、「～てたまらない」に置き換えられない)

接続 「動一て形」/「い形ーくて」/「な形ーで」+ならない

例文 国の家族<sup>おも</sup>のことが思い出<sup>だ</sup>されてならない。

ひさ 久しぶりに国<sup>くに</sup>の友達<sup>ともだち</sup>に会うのでうれしくてならない。

母<sup>はは</sup>の病気が心配<sup>しんぱい</sup>でならない。

## 101 ～にきまっている

意味 必ず～だ・当然～だと思う(話し言葉でよく使う)

接続 「動、い形、な形、名」の普通形＋にきまっている

例文 ぜんぜん練習していないんだから、今度の試合は負けるにきまっている。

ちゅうもんふく  
注文服だから、高いにきまっている。

そんなうまい話はうそにきまっていますよ。

## 102 ～にすぎない

意味 ただ～だけだ・それ以上のものではない

接続 「動一普通形」/「な形一である」/「名/名一である」＋にすぎない

例文 わたしは警察としてしなければならないことをしたにすぎません。

だんじょびやうどう      ほうりつじやう  
男女平等といっても、法律上平等であるにすぎない。

おおじしん  
来年大地震があるというのは、うわさにすぎない。

## 103 ～に相違ない

意味 確かに～だろう・間違いなく～だと思う(証明書の中で使われる場合は、「間違いのない」の意味になる)

接続 「動、い形、な形、名」の普通形＋に相違ない

例文 そんなひじょうしきな要求は認められないに相違ない。

ちいき      みるぞくふんそう  
この地域の民族紛争を解決するのは難しいに相違ない。

はんけつ      ふまん      そうい  
今日の判決は、彼にとって不満に相違ない。

どき      ふる      じだい  
この土器は古い時代のものに相違ない。

か      じじつ      そうい  
ここに書かれていることは、事実相違ありません。

## 104 ～に違いない

意味 確かに～と思う

接続 「動、い形、な形、名」の普通形＋に違いない

例文 かぎがない。どこかに落としたに違いない。

やまだ      そうとう      あじ      かお      すば  
山田さんが持って来てくれたワインは相当高かったに違いない。味も香りも素晴らしかった。

ろうじん      むかしはなし      こ      たいくつ  
老人の昔話は子どもには退屈に違いない。

いしや      はな      かた      がん  
医者のお話し方からすると、わたしは、癌に違いありません。

## 105 ～べき/～べきだ/～べきではない

意味 そうするのが人間として当然だ・～したほうがいい(「するべき」は「すべき」も使われる)

接続 「動一辞書形」＋べき/べきだ/べきではない

例文 書く前に注意すべき点を説明します。

した      なか      かえ  
どんなに親しい仲でも、借りた物はきちんと返すべきだ。

先生のお宅に、こんな夜中<sup>よなか</sup>に電話するべきではない。

## 106 ～(より)ほか(は)ない/～ほかしかたがない

意味 ～する以外に方法がない

接続 「動一辞書形」＋(より)ほか(は)ない/ほかしかたがない

例文 だれにも<sup>たの</sup>頼めないから、自分でやるほかはない。  
わたしの不注意<sup>ふちゆうい</sup>で壊<sup>こわ</sup>したのだから、弁償<sup>べんしょう</sup>するほかはない。  
これだけ捜<sup>さが</sup>しても見つからないのだから、あきらめるよりほかはない。  
この病氣<sup>びょうき</sup>を治<sup>なお</sup>すためには、手術<sup>しゅじゅつ</sup>するほかしかたがないでしょう。

## 107 ～向<sup>む</sup>き/～向<sup>む</sup>きに/～向<sup>む</sup>きの

意味 ～にちょうどいい・～に適している

接続 「名」＋向<sup>む</sup>き/向<sup>む</sup>きに/向<sup>む</sup>きの

例文 このスキー場<sup>じょう</sup>は初心者<sup>しょしんしゃ</sup>向<sup>む</sup>きです。  
この別荘<sup>べっそう</sup>は夏向<sup>む</sup>きにできているので、冬は寒いです。  
これは体力<sup>たいりよく</sup>が必要<sup>む</sup>なので、どちらかという<sup>む</sup>と若い人向<sup>む</sup>きの仕事です。

## 108 ～向<sup>む</sup>け/～向<sup>む</sup>けに/～向<sup>む</sup>けの

意味 ～に適するように特に作った

接続 「名」＋向<sup>む</sup>け/向<sup>む</sup>けに/向<sup>む</sup>けの

例文 ここにある軽量<sup>けいりょう</sup>のクリスマスカードは、みんな海外<sup>かいがい</sup>向<sup>む</sup>けだ。  
高齢者<sup>こうれいしゃ</sup>向<sup>む</sup>けに、安全や住みやすさを考えた住宅が開発されている。  
あちらに外国人向<sup>む</sup>けのパンフレットが用意してあります。

## 109 ～もの(です)か

意味 決して～ない(強い否定の意味を表す、話し言葉や親しい人の間では、「～もんか」「～もんですか」が使われる)

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾形＋もの(です)か

例文 あの人<sup>ちゆうこく</sup>が人の忠告なんか聞くものですか。  
「歯医<sup>はいしや</sup>者に行くのがこわいんでしょう。」「こわいもんか。時間がないだけだよ。」  
「ご迷惑<sup>ごめいさく</sup>じゃありませんか。」「迷惑なものですか。ぜひいらっしゃってください。」  
あの絵<sup>え</sup>が名作<sup>めいさく</sup>なものか。ピカソ<sup>もほう</sup>の模倣<sup>もほう</sup>にすぎない。

## 110 ～ものだ/～ものではない

意味 ①感嘆・嘆息・心に深く感ずることを表す ②当然・常識と思えることを言う時の表現

接続 「動、い形、な形」の名詞修飾形＋ものだ/ものではない

例文 あんな大事故<sup>だいじこ</sup>にあつて、よく助<sup>たす</sup>かったものだ。  
時間のたつのは早いものですね。

地震のときは、だれでもあわてるものだ。

ねんまつ  
年末は、だれでも忙しいものだ。

意味 助言・軽い命令を表す

接続 「動・辞書形」+ものだ/ものではない

例文 人の話はよく聞くものです。

人の陰口<sup>かげぐち</sup>を言うものではありません。

意味 過去の状態やよく起こったことを思い出して言う時の表現

接続 「動、い形、な形」の普通形の過去+ものだ/ものではない

例文 子どものころ、いたずらをして、よく父に叱<sup>しか</sup>られたものだ。

この辺<sup>へん</sup>は、昔は静かだったものだ。

## 111 ~わけだ

意味 ①理由があるから、そうなるのは当然だと言いたい時に使う ②成り行きから、そうなると言いたい時の表現

接続 「動、い形、な形」の名詞修飾形+わけだ

例文 暗いわけだ。蛍光灯<sup>けいこうとう</sup>が1本切れている。

ジョンさんは、お母さんが日本人ですから、日本語が上手なわけですよ。

5パーセントの値引き<sup>ねび</sup>という、1万円の物は9,500円になるわけですね。

## 112 ~わけではない/~わけでもない

意味 特に~ではない・必ずしも~ではない

接続 「動、い形、な形」の名詞修飾形+わけではない/わけでもない

例文 生活に困っているわけ<sup>ちよきん</sup>ではないが、貯金<sup>よゆう</sup>する余裕はない。

彼の気持ち<sup>きも</sup>がわからないわけでもありませんが、やはり彼の意見<sup>さんせい</sup>には賛成できません。

甘い物が嫌いなわけではありませんが、ダイエットしているんです。

## 113 ~つけ

意味 思い出そうとしたり、思い出したことを確認する時に使う(話し言葉で使われる)

接続 「動、い形、な形、名」の普通形+つけ

例文 「学生時代<sup>がくせいじだい</sup>は楽しかったね。」「そうそう、一緒<sup>たつきゅう</sup>によく卓球したつけね。」

「あのレストランで送別会<sup>そうべつかい</sup>しない。」「あそこ50人入れるほど広かったつけ。」「

そうだ。今日はお母さんの誕生日だつけ。

## 114 ~とか

意味 ~そうだ・~ということだ(間接的情報を表す)

接続 「動、い形、な形、名」の普通形+とか

例文 新聞によると、国内線<sup>こくないせん</sup>の飛行機運賃<sup>うんちん</sup>が上がる<sup>あ</sup>とか。

先生は来週、お忙しいとか。お宅に伺うのは、再来週にしませんか。  
木村さんのお父さんも学校の先生だとか伺いました。

## 115 ～どころではない/～どころではなく

意味 事情があって、～できない

接続 「動一辞書形」/「名」+どころではない/どころではなく

例文 人の仕事を手伝うどころではありません。自分の仕事も間に合わないんです。  
年末から母の入院で、お正月どころではありませんでした。

## 第Ⅷ部

## 116 ～からして

意味 ①一つの例をあげて、ほかのもちらんだがという気持ちを表す ②～から判断して(推量の根拠を示す)

接続 「名」+からして

例文 彼は礼儀を知らない。あいさつからして、きちんとしていない。  
この映画は怖いそうですね。題名からしてこわそうですね。  
窓ガラスが破られていることからして、どろぼうはここから入ったに違いない。

## 117 ～からすると/～からすれば

意味 ①～の立場から見ると ②～から判断すると(推量の根拠を示す)

接続 「名」+からすると/からすれば

例文 親からすると、子どもはいくつになっても子どもで、心配なものだ。  
日本人からすれば当たり前なことでも、外国人にとっては変だとも思うこともある。  
あの車は形からすると10年ぐらい前のものだと思う。  
彼女の能力からすれば、A大学に十分合格できるだろう。

## 118 ～からには/～からは

意味 ～のだから当然(「～からには」の後ろには義務、決意、推量、進め、命令の文が続く)

接続 「動、い形、な形、名」の普通形+からには/からは

例文 試合に出るからには、勝ちたい。  
約束したからには、守らなければいけない。  
高価なものがこんなに安いからには、何か欠陥があるに違いない。  
自分で選んだ道であるからには、最後までやりぬくつもりだ。

## 119 ～ことだから

意味 皆が知っている理由を示す。後ろに推量の文がくる。

接続 「名一の」+ことだから

例文 あなたのことだからきっといい論文が書けるとおもいます。  
心の優しい林さんのことだから、喜んでボランティアに参加してくれるでしょう。



## 120 ～だけ/～だけあって/～だけに/～だけの

意味 ～にふさわしく

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾形＋だけ/だけあって/だけに/だけの

例文 彼女はアメリカに留学しただけに英語がうまいね。

この大学は歴史が長<sup>でんとう</sup>いだけあって伝統がある。

さすがに最高級<sup>さいこうきゅう</sup>といわれるワインだけのことはある。味<sup>あじ</sup>も香り<sup>かお</sup>も素晴<sup>すば</sup>らしい。

意味 ～だからいっそう

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾形＋だけに

例文 今日の試合は優勝<sup>ゆうしょう</sup>がかかっているだけに大勢<sup>おおぜい</sup>のファンが詰めかけ熱<sup>つ</sup>烈<sup>れつ</sup>な応援<sup>おうえん</sup>をしていた。

昨年<sup>さくねん</sup>はみかんが不作<sup>ふさく</sup>で、値段<sup>ねだん</sup>が高<sup>たか</sup>かっただけに今年<sup>ことし</sup>の豊作<sup>ほうさく</sup>がうれしい。

意味 ～の限界まですべて

接続 「動、い形、な形」の名詞修飾形＋だけ/だけの

例文 考えるだけ考えたが結論<sup>けつろん</sup>は出なかった。

ほし<sup>ほ</sup>いだけ本<sup>ほん</sup>が買<sup>か</sup>えたらどん<sup>どん</sup>なにいいだろう。

ふだんは忙<sup>いそ</sup>しくて寝<sup>ね</sup>る時間<sup>じかん</sup>も十分<sup>じゅうぶん</sup>ないので、休<sup>やす</sup>みの日<sup>ひ</sup>は好<sup>す</sup>きなだけ寝<sup>ね</sup>ています。

## 121 ～にあたって/～にあたり

意味 ～の時に(何かをすべき特別の機会や場合を示す)・～する前

接続 「動一辞書形」/[名]＋にあたって/にあたり

例文 新製品<sup>しんせいひん</sup>を開発<sup>かいぱつ</sup>するにあたり、強<sup>き</sup>力<sup>りき</sup>なプロジェクトチームが作<sup>つく</sup>られた。

新年<sup>しんねん</sup>にあたり、決<sup>けつ</sup>心<sup>しん</sup>を新<sup>あら</sup>たにした。

## 122 ～にかけては/～にかけても

意味 ～について言えば(「～にかけては」の後ろにはプラス評価の文が来る)

接続 「名」＋にかけては/にかけても

例文 数学<sup>すうがく</sup>にかけては、彼女はクラスでいつも一<sup>いち</sup>番<sup>ばん</sup>だった。

彼<sup>そ</sup>は優<sup>すぐ</sup>れた技<sup>ぎ</sup>術<sup>じゆつ</sup>者<sup>しゃ</sup>だが、経<sup>けい</sup>営<sup>えい</sup>にかけても才<sup>さい</sup>能<sup>のう</sup>を発<sup>は</sup>揮<sup>つき</sup>した。

## 123 ～に際して/～に際し/～に際しての

意味 ～を始める時に・～をしている時に

接続 「動一辞書形」/[名]＋に際して/に際し/に際しての

例文 帰<sup>き</sup>国<sup>こく</sup>に際<sup>さい</sup>し、お世<sup>せ</sup>話<sup>わ</sup>になっ<sup>な</sup>った人<sup>ひと</sup>にあいさつ<sup>あいさつ</sup>の手紙<sup>てし</sup>を出<sup>で</sup>した。

計<sup>けい</sup>画<sup>かく</sup>を更<sup>さ</sup>えするに際<sup>さい</sup>しての問<sup>もん</sup>題<sup>だい</sup>点<sup>てん</sup>を検<sup>けん</sup>討<sup>とう</sup>する。

## 124 ～に先立って/～に先立ち/～に先立つ

意味 ～の前に・～より先に

接続 「名」＋に先立って/に先立ち/に先立つ

例文 入社試験に先立ち、会社説明会が行われた。  
首脳会議に先立つ事務レベルの協議で、案が作られた。

## 125 ～にしたら/～にすれば/～にしても

意味 ～の立場で言うと

接続 「名」+にしたら/にすれば/にしても

例文 あなたにすれば、つまらないことかもしれませんが、わたしには大切なのです。  
会社ルールを守ることは、小さな子どもにしても同じです。

## 126 ～につき

意味 ～なので

接続 「名」+につき

例文 雨天につき、試合は延期いたします。  
店内改装につき、しばらく休業いたします。

## 127 ～につけ/～につけて(は)/～につけても

意味 ～するたびに(文末には「～と思う」「～という気持ちになる」など心情を表す表現がくる)

接続 「動一辞書形」+につけ/につけて(は)/につけても

例文 戦争のニュースを聞くにつけ、心が痛む  
母は何かにつけて、小言を言う。  
彼は何事につけても注意深い人だ。

意味 ～の場合にも・～の場合も

接続 「動一辞書形」/「い形一い」/「名」+につけ「動一辞書形」/「い形一い」/「名」+につけ

例文 先輩の活躍を見るにつけ聞くにつけ、心強くなる。  
暑いにつけ寒いにつけ、うちのおばあさんは体の調子が悪いと言う。  
雨につけ雪につけ、工事の遅れが心配された。

## 128 ～のもとで/～のもとに

意味 ～のしたで(影響や条件の範囲で、あることが行われることを表す)

接続 「名」+のもとで/のもとに

例文 鈴木教授のご指導のもとで、卒業論文を完成させた。  
子どもの人権は法のもとに守られています。

## 129 ～はともかく(として)

意味 ～のことは考えないで・～は別にして

接続 「名」+はともかく(として)

例文 この洋服は、デザインはともかく、色がよくない。

この店のラーメンは味はともかくとして、値段は安い。

### 130 ～をきっかけに(して)/～をきっかけとして

意味 偶然のできごとから何かが始まったり変わったりすることを表す

接続 「名」+をきっかけに(して)/をきっかけとして

例文 旅行をきっかけにして、木村さんと親しくなりました。  
市民の投書をきっかけとして、町をきれいにする運動が起こった。

### 131 ～を契機に(して)/～を契機として

意味 あるできごとから、前の流れがはっきり現れてきたり大きく変わったりすることを表す

接続 「名」+を契機に(して)/を契機として

例文 オイルショックを契機に新エネルギーの研究が進められた。  
新製品の開発を契機として、大きく会社が発展した。

### 132 ～を～として/～を～とする/～を～とした

意味 ～を～と決めて・～が～である(「として」の前には目的、立場、役割、種類などを示す言葉がくる)

接続 「名」+を+「名」+として/とする/とした

例文 チンさんを先生として、中国語の勉強会を開いた。  
同窓会は卒業生の交流を目的とする集まりです。

## 第Ⅸ部

### 133 ～あげく(に)

意味 ～したその結果とうとう・～したけれども、結局

接続 「動一た形」/「名一の」+あげく(に)

例文 さんざん迷ったあげく、大学院には行かないことにした。  
その男はお金に困ったあげく、銀行強盗を計画した。  
長時間の議論のあげく、その開発計画は中止に決まった。

### 134 ～以上(は)

意味 ～からには(ただし「名一の」の形は使わない。「名一である」を使う。「な形一である」も使う。)

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾形+以上(は)

例文 日本に住んでいる以上、日本の法律を守らなければならない。  
約束した以上、必ず守ってください。  
相手のやり方が合理的である以上、文句はつけられない。  
親子である以上、お互いの生活に無関心ではいられない。  
給料がこんなに安い以上は、転職を考える人がいるのも当然だ。

### 135 ～<sup>うえ</sup>上は

意味 ～からには

接続 「動一辞書形/た形」＋上は

例文 契約を結ぶ<sup>むす</sup>上<sup>うえ</sup>は、条件を慎重<sup>しんちょう</sup>に検討<sup>けんとう</sup>すべきである。

弁護士になると決めた上<sup>うえ</sup>は、苦しくてもがんばらなければならない。

### 136 ～ことなく

意味 ～ないで

接続 「動一辞書形」＋ことなく

例文 ロボットは24時間休むことなく働<sup>はたら</sup>いている。

彼は毎年忘れることなく、クリスマスカードをくれる。

### 137 ～<sup>さい</sup>際(は)/～<sup>さい</sup>際に

意味 ～時・～場合

接続 「動一辞書形/た形」/「名一の」＋際(は)/際に

例文 帰国の際<sup>さい</sup>、保証人<sup>ほしょうにん</sup>の家にあいさつに行った。

カードを紛失<sup>ふんしつ</sup>した際<sup>さい</sup>はカード会社<sup>がいしや</sup>にすぐ知らせなければならない。

パスポートを申請<sup>しんせい</sup>する際<sup>さい</sup>に必要なものを教えてください。

### 138 ～つつ/～つつも

意味 ながら(会話ではあまり使わない)

接続 「動一ます形」＋つつ

例文 財布<sup>なかみ</sup>の中身を考<sup>か</sup>えつつ、買<sup>か</sup>い物<sup>もの</sup>をした。

喜<sup>よろこ</sup>ぶ母の顔を思<sup>おも</sup>いつつ、手紙を書いています。

意味 けれども・～のに(会話ではあまり使わない)

接続 「動一ます形」＋つつ/つつも

例文 悪いと知<sup>し</sup>りつつ、うそをついてしまった。

早くご連絡しようと思<sup>おも</sup>いつつも、忙しくて遅<sup>おそ</sup>くなってしまうました。申し訳<sup>もうわけ</sup>ありません。

### 139 ～てからでないと/～てからでなければ

意味 ～た後でないと(前に言ったことが実現してからでなければ、後ろで言うことが実現しない)

接続 「動一て形」＋からでないと/からでなければ

例文 この仕事は訓練<sup>くんれん</sup>を受けてからでないと無理<sup>むり</sup>でしょう。

契約書<sup>けいやくしょ</sup>の内容を確認してからでなければ、はんこは押<sup>お</sup>せません。

### 140 ～といっても

意味 ～(だ)が・しかし(実際はそれから考えられるものとは違う)

接続 「動、い形、な形、名」の普通形＋といっても（「名」と「な形」の「だ」はつかない場合もある）

例文 朝ごはんを食べたといっても、パンとコーヒーだけの簡単なものです。

日本は物価が高いといっても、安いものもありますよ。

今日は暑かったといっても、クーラーをつけるほどではありませんでした。

日本料理が好きだといっても、天ぷらとすしだけです。

彼は社長といっても、社員が3人しかいない会社の社長です。

## 141 ～どころか

意味 前に言ったことはもちろん、それよりもっと程度が激しいという時や、実際はそうではなく、正反対であることを強調する時に使う。

接続 「動、い形、な形、名」の普通形＋どころか（「な形」と「名」は「だ」がつかない。「な形－な」も使われる）

例文 彼は貯金どころか借金だらけだ。

この部屋は涼しいどころか寒いくらいだ。

この辺りは静かどころか窓を開けていられないほど車の音がうるさいんです。

あの人は英語どころかアラビア語もロシア語も話せる。

## 142 ～としたら/～とすれば

意味 ①～なら（仮定の表現） ②～なら・～から考えれば

接続 「動、い形、な形、名」の普通形＋としたら/とすれば

例文 留学するとしたら、日本に行きたいとおもいます。

予定どおりだとすれば、飛行機は9時に着くはずだ。

足の悪い人が地下鉄を利用するとしたら、どんな設備が必要だろうか。

「この冷蔵庫はもう修理は無理ですね。」修理が無理だとしたら、新しいのを買うしかありません

## 143 ～ないことには

意味 ～なければ（「～ないことには」の後ろには否定の意味の文がくる）

接続 「動－ない形」「い形－く」「な形－で」「名－で」＋ないことには

例文 実際に読まないことには、この小説のおもしろさはわからないだろう。

部屋がもっと広くないことには、教室としては使えない。

体が丈夫でないことには、この仕事は無理だ。

担当者でないことには、詳しいことはわからないだろう。

## 144 ～ながら

意味 けれども

接続 「動－ます形/ない形－ない」「い形－い」「な形－〇」「名」＋ながら

例文 一緒に暮らしているながら、母の病気に気づかなかった。

日本語がわからないながら、テレビのドラマをけっこう楽しんでいます。

彼は仕事が遅いながら、確実に安心して任せられる。

残念ながら、その質問<sup>しつもん</sup>には答えられません。  
この掃除機<sup>そうじき</sup>は、小型<sup>こがた</sup>ながら性能<sup>せいよう</sup>がいい。

## 145 ～にしては

意味 そのことから当然予想されることと違って

接続 「動、い形、な形、名」の普通形＋にしては（「な形」と「名」は「だ」がつかない）

例文 <sup>あに</sup>兄はアメリカに20年いたにしては英語が下手だ。

<sup>やまだ</sup>山田さんは忙しいにしては、よく手紙をくれます。

<sup>かしゅ</sup>彼は歌手だったにしては歌が下手だ。

<sup>りきし</sup>彼は力士<sup>こがら</sup>にしては小柄だ。

## 146 ～にしろ/～に(も)せよ/～にしても

意味 ①たとえ～でも・～でも ②～でも～でも、どちらでも

接続 「動、い形、な形、名」の普通形＋にしろ/に(も)せよ/にしても（「な形」と「名」の場合、「一である」を使う）

例文 <sup>にんげん</sup>どんな人間にしろ<sup>ちやうしょ</sup>長所はあるものだ。

いくら<sup>からだ</sup>体が丈夫<sup>じやうぶ</sup>であるにせよ、そんな<sup>はたら</sup>に働いたら病気になるますよ。

いくら<sup>いそが</sup>忙しいにもせよ<sup>しょくじ</sup>食事<sup>しょくじ</sup>をしないのはよくない。

中古<sup>ちゆうこ</sup>の家<sup>いえ</sup>を買うにしても<sup>しゃっきん</sup>借金<sup>しゃっきん</sup>しなければならない。

ビールにしろ、日本酒<sup>にほんしゅ</sup>にしろ飲んだら運転できない。

好きにせよ嫌い<sup>すぐ</sup>にせよ、彼女が優れた歌手であることはみんなが認めている。

自分でやるにしても、人に頼む<sup>たの</sup>にしてもこれは時間がかかる。

## 147 ～にかかわらず/～に(は)かかわらず

意味 ～に関係なく

接続 （「動一辞書形」＋「動一ない形一ない」）/「名」＋にかかわらず/に(は)かかわらず

例文 参加するしないにかかわらず、必ず返事<sup>へんじ</sup>をください。

あの会社は外国語の能力にかかわらず、国際感覚<sup>こくさい かんかく</sup>を持った人<sup>さいよう</sup>を採用する。

経験<sup>うむ</sup>の有無にかかわらず、入社<sup>にゅうしゃ</sup>後の研修<sup>けんしゅう</sup>に参加<sup>さんか</sup>していただく。

## 148 ～にもかかわらず

意味 ～のに

接続 「動、い形、な形、名」の普通形＋にもかかわらず（「な形」と「名」は「だ」がつかない、「である」を使う）

例文 彼は熱<sup>ねつ</sup>があるにもかかわらず、サッカーの試合<sup>しゅつじょう</sup>に出場した。

問題<sup>やさ</sup>が易しかったにもかかわらず、不注意<sup>ふちゆうい</sup>でミスをしてしまった。

そのパソコンは操作<sup>ふくざつ</sup>が複雑であるにもかかわらず、よく売れている。

ご多忙<sup>たぼう</sup>にもかかわらず、ご出席<sup>しゅつせき</sup>くださいましてありがとうございます。

## 149 ～ぬきで(は)/～ぬきに(は)/～ぬきの/～をぬきにして(は)/～はぬきにして



意味 ～なしで・なしに(～がない状態で・～を省いて)

接続 「名」+ぬきで(は)/ぬきに(は)/ぬきの/をぬきにして(は)/はぬきにして

例文 社長ぬきでは、この件を決めることはできない。

彼女はお世辞ぬきに素晴らしい人だ。

子ども用にわさびぬきのまぐろのすしを注文した。

アジアをぬきにしては、世界経済は語れない。

今日の会は難しい話はぬきにして楽しくやりましょう。

## 150 ～のみならず

意味 ～だけでなく

接続 「動、い形、な形、名」の普通形+のみならず(「な形」と「名」の場合、「な形一である」「名一である」を使う)

例文 このコンピューターは性能が優れているのみならず、操作も簡単だ。

この会社は安定性が高いのみならず、将来性もある。

学生のみならず、教師もスポーツ大会に参加することになっている。

この手術は費用が高額であるのみならず、危険も伴う。

## 151 ～反面/～半面

意味 ある面では～と考えられるが、別の面から見ると

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾形+反面/半面(「名」は「である」を使う。「な形一である」も使う)

例文 この薬はよくきく反面、副作用がある。

母は優しい反面、厳しいところもある。

彼はわがままな反面リーダーシップがある。

彼は紳士である半面、子どもっぽいところがある。

## 152 ～ものなら

意味 ～なら(実現が難しいことを希望する時、または、実現の可能性が少ないことを相手に冷たく言う時の言い方)  
※可能の意味の動詞とともに使われることが多い。会話では「もんなら」となることもある。

接続 「動一辞書形」+ものなら

例文 父の病気が治るものなら、どんな高価な薬でも手に入れたい。

自分一人でやれるものならやってみなさい。

退院できるものなら、すぐにでもうちへ帰りたい。

## 153 ～ものの

意味 けれども・～ということは本当だが、しかし(「～とはいうものの」の形もよく使われる。特に名詞は「名」+とはいうもののの形でしか使われない)

接続 「動、い形、な形」の名詞修飾形+ものの

例文 免許はとったものの、車が買えない。

立秋とはいうものの、まだまだ残暑が厳しい。

給料は少ないものの、仕事はやりがいがあります。

れいどうしょくひん <sup>べんり</sup> 冷凍食品は便利なものの、毎日続<sup>つづ</sup>くといやになる。

## 154 ～わりに(は)

意味 ～にふさわしくなく意外に

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾形＋わりに(は)

例文 わたしはたくさん食べるわりに太<sup>ふと</sup>らない。

あのレストランの料理は、値段<sup>ねだん</sup>のわりにおいしい。

彼は勉強しないわりには成績<sup>しな</sup>がいい。

この品物<sup>しなもの</sup>は高いわりには品質<sup>ひんしつ</sup>がよくない。

兄<sup>あに</sup>は慎重<sup>しんちょう</sup>なわりにはよく忘れ物<sup>わすれもの</sup>をする。

## 第X部

## 155 ～(よ)うではないか/～(よ)うじゃないか

意味 ～しましょうか・しませんか(強いと呼ぶかけの表現)

「動一意向形」＋ではないか/じゃないか

接続 I 類:「お段」+「う」

II 類:「よう」

III 類:きます→こよう、します→しよう

例文 災害<sup>さいが</sup>を受けた人々に救援物資<sup>きゅうえんぶつし</sup>を送<sup>おく</sup>ろうではないか。

男女差別<sup>だんじょさべつ</sup>の問題について真剣<sup>しんけん</sup>に考えようではありませんか。

## 156 ～得る/～得ない

意味 ～することができる/できない・～の可能性はある/ない

接続 「動一ます形」＋得る/得ない

例文 捜<sup>さが</sup>し得<sup>う</sup>るかぎり捜<sup>さが</sup>したが、その書類<sup>しよるい</sup>はとうとう見つからなかった。

でき得<sup>う</sup>るならば、独立<sup>どくりつ</sup>して事業<sup>じぎょう</sup>を始めたい。

こんな低<sup>ひく</sup>い山<sup>やま</sup>で遭難<sup>そうなん</sup>することはあり得<sup>え</sup>ないと思う。

## 157 ～かねない

意味 ～おそれがある・～かもしれない(悪い結果になる可能性がある時に使う)

接続 「動一ます形」＋かねない

例文 あんなにスピード<sup>だ</sup>を出<sup>だ</sup>したら、事故<sup>じこ</sup>を起<sup>お</sup>こしかねない。

あの人ならそんな無責任<sup>むせきにん</sup>なことと言<sup>い</sup>いかねない。

## 158 ～かねる

意味 ～しようとしてもできない・～することが難しい

接続 「動一ます形」＋かねる

例文 そんな多額<sup>たがく</sup>な寄付<sup>きふ</sup>には応<sup>おう</sup>じかねます。

私の仕事<sup>しごと</sup>がなかなか終<sup>お</sup>わらなかったで、見<sup>み</sup>かねて山田<sup>やまだ</sup>さんが手伝<sup>てつだ</sup>ってくれた。



## 159 ～ことか

意味 なんと～でしょう(感嘆・嘆息を表す)

接続 「動、い形、な形」の名詞修飾形＋ことか

例文 息子から半年も連絡がない。一体何を<sup>いっさいなに</sup>していることか。

あなたの返事<sup>へんじ</sup>をどんなに待っていたことか。

友達と別れて、どんなに寂<sup>さび</sup>しかったことか。

コンピューターは、なんと便利<sup>べんり</sup>なことか。

## 160 ～ことだ

意味 このことが大切であると勧める時に使う

接続 「動一辞書形/ない形一ない」＋ことだ

例文 大学<sup>はい</sup>に入りたければ、一生懸命勉強<sup>いっしょうけんめい</sup>することだ。

風邪<sup>かぜ</sup>気味<sup>きみ</sup>なら、早く寝ることだ。

人の悪口<sup>わるぐち</sup>は言わないことだ。

## 161 ～ざるを得ない

意味 どうしても～なければいけない・～ないわけにはいかない

接続 「動一ない形」＋ざるを得ない(「する」は「せざるを得ない」となる)

例文 みんなで決めた規則<sup>きそく</sup>だから、守<sup>まも</sup>らざるを得ない。

原料<sup>げんりょう</sup>がどんどん値上<sup>ねあ</sup>がりしているのですから、製品<sup>せいひん</sup>も値上<sup>ねあ</sup>げせざるを得ません。

彼は登山中<sup>とざんちゅう</sup>に消息不明<sup>しょうそくふめい</sup>となり、すでに5年<sup>た</sup>経っている。死<sup>し</sup>んだと考えざるを得ないだろう。

こんなにひどい雨<sup>うんどうかい</sup>では運動会<sup>ちゅうし</sup>は中止<sup>え</sup>せざるを得ない。

## 162 ～次第<sup>しだい</sup>だ/～次第<sup>しだい</sup>で(は)

意味 ～わけだ(経緯・理由を示して、～の結果になったと言いたい時の表現)

接続 「動、い形、な形」の名詞修飾形＋次第だ/次第で(は)

例文 英語<sup>はな</sup>が話せないわたしには無理<sup>ことわ</sup>な仕事<sup>しだい</sup>と思い、お断りした次第です。

わたしの専門分野<sup>せんもんぶんや</sup>なのにこんなこともわからなくて、お恥<sup>は</sup>ずかしいしだいです。

以上<sup>いじょう</sup>のような次第<sup>しだい</sup>で、退職することになりました。

意味 ～によって決まる

接続 「名」＋次第だ/次第で(は)

例文 この世<sup>よ</sup>の中<sup>なか</sup>はお金<sup>しだい</sup>次第だと言う人もいる。

考え<sup>しだい</sup>方<sup>しあわ</sup>次第<sup>ふしあわ</sup>で幸せにも不幸せにもなる。

実力<sup>じつりょく</sup>次第<sup>しだい</sup>では社長<sup>かのう</sup>になることも可能<sup>う</sup>だろう。

検査<sup>しだい</sup>の結果<sup>にゅういん</sup>次第<sup>う</sup>では入院<sup>う</sup>ということもあり得る。

## 163 ～っこない

意味 決して～ない・絶対～ない(会話で使われる)

接続 「動一ます形」+っこない

例文 宝くじ<sup>たから</sup>なんて当たり<sup>あ</sup>っこないよ。

いくら好きだって、一度にバナナ<sup>いちど</sup>を20本も食べられっこない。

## 164 ～というものだ

意味 それが当たり前という話者の主張や感想を表す

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾形+というものだ(「な形」と「名」は「だ」がつかない場合が多い)

例文 彼の作品<sup>さくひん</sup>がやっと世間<sup>せけん</sup>から評価<sup>ひょうか</sup>された。長年<sup>ながねん</sup>の苦勞<sup>くろう</sup>が認め<sup>みと</sup>められたというものだ。

言葉<sup>ことば</sup>が通じ<sup>つう</sup>ない国へ一人で旅行<sup>りょこう</sup>するのは心細<sup>こころほそ</sup>いというものだ。

若者<sup>若者</sup>が高価<sup>こうか</sup>な車<sup>車</sup>を買うのは贅沢<sup>ぜいたく</sup>というものだ。

## 165 ～というものではない/～というものでもない

意味 ～とは言いきれない

接続 「動、い形、な形、名」の普通形+というものではない/というものでもない(「な形」と「名」の「だ」がつかないこともある)

例文 性格<sup>せうがい</sup>は絶対<sup>か</sup>に変えられないというものではない。

お金さえあれば幸せ<sup>しあわせ</sup>に暮<sup>く</sup>らせるというものではない。

かぎをかけたから安心<sup>あんしん</sup>というものでもない。

この仕事は英語<sup>英語</sup>ができなければだめだというものでもないが、できたほうがいい。

## 166 ～ないことはない/～ないこともない

意味 ～の可能性もある

接続 「動一ない形」/「い形一く」/「な形一で」/「名一で」+ないことはない/ないこともない

例文 難しいが、やり方次第<sup>しだい</sup>ではできないことはないだろう。

どうしても話<sup>い</sup>してくれと言われれば、話<sup>はな</sup>せないこともない。

ちょっと大きくないこともないが、この靴<sup>くつ</sup>で大丈夫だ。

「このセーター、ちょっと派手<sup>はで</sup>じゃありませんか。」派手<sup>はで</sup>じゃないこともないけど、よく似合っていますよ。

## 167 ～ないではいられない/～ずにはいられない

意味 どうしても～してしまう(どうしても我慢できず、自然にそうになってしまうと言いたい時の表現)

接続 「動一ない形」+ないではいられない/ずにはいられない(「する」は「せずにはいられない」となる)

例文 彼の物真似<sup>ものまね</sup>を見るとおかしくて、笑<sup>わら</sup>わないではいられない。

あの映画のラストシーン<sup>ラストシーン</sup>は感動<sup>かんどう</sup>的で、涙<sup>なみだ</sup>を流さずにはいられなかった。

車の多い道路<sup>あそ</sup>で遊<sup>あそ</sup>んでいる子ども<sup>こ</sup>を見て、注意<sup>ちゅうい</sup>せずにはいられなかった。

## 168 ～に限る/～に限り/～に限って

意味 ～だけ

接続 「名」＋に限る/に限り/に限って

例文 参加者は女性じよせいに限る。  
本日ほんじつに限って、全商品ぜんしやうひん2割引きわりびにさせていただきます。

意味 ～だけは特に

接続 「名」＋に限って

例文 あの人の人かぎに限って、人をだますようなことはしない。  
傘を持っていない日かぎに限って、雨が降る。

意味 一番いい

接続 「動一辞書形/ない形一ない」/「名」＋に限る

例文 風邪かぜを引いた時は、部屋あたを暖かくして寝るかぎに限る。  
危険きけんな所ところには近寄ちかよらないに限る。  
夏はビールかぎに限る。

## 169 ～に限らず

意味 ～だけではなく～も

接続 「名」＋に限らず

例文 ディズニーランドは子こどもにかぎ限らず、大人おとなにも人気がある。

## 170 ～にほかならない

意味 まさに～だ・それ以外でない(強調。断定的に述べると時に使う)

接続 「動、い形、な形、名」の普通形＋にほかならない(「な形」と「名」は「だ」がつかない。「な形一である」「名一である」も使う。理由を表す「から」にもつく)

例文 この手紙てがみは私の正直しょうじきな気持ちきもを申し上げたもうにほかなりません。  
この仕事せいこうが成功したのは皆さんのご協力けつかりの結果にほかなりません。  
熱帯雨林ねったい うりんが消滅しょうめつすることは、地球ちきゅうの肺はいがなくなることにほかならない。  
親おやが子こどもを叱しかるのは子こどもを愛あいしているからにほかならない。

## 171 ～もの

意味 ～から(理由の説明や言いわけの表現)

接続 「動、い形、な形、名」の普通形＋もの(「です」「ます」に接続する場合もある。話し言葉で女性や子供が使う。「～もん」は、よりくだけた言い方。)

例文 「一人で行ける。」「うん、大丈夫、地図ちずを持もっているもの。」  
電話あしたは明日にしたほうがいいんじゃない。もう遅いもの。  
多少たしょうのいたずらはしかたありませんよ。子こどもですもの。

## 172 ～ものがある

意味 ～という感じがある・～ように感じられる

接続 「動、い形、な形」の名詞修飾形の現在＋ものがある

例文 この絵には人を引き付け<sup>ひ</sup>けるものがある。

彼の話にはどこか納得<sup>なっとく</sup>できないものがある。

彼の話し方にはどこか強引なものがあつた。

## 173 ～ようがない/～ようもない

意味 ～する方法がない・手段がなくて～できない

接続 「動一ます形」＋とうがない/ようもない

例文 木村<sup>きむら</sup>さんは今<sup>いま</sup>どこにいるのかわからないので、連絡<sup>れんらく</sup>しようがない。

質問<sup>しつもん</sup>の意味がわからなくて、答え<sup>こたへ</sup>ようがなかった。

この病気<sup>いびき</sup>にかかると、今の医学<sup>いがく</sup>ではどうしようもないらしい。

## 第Ⅺ部

## 174 ～ごとに

意味 ①～のとき/～たびに(物事が変化していくときに使う) ②「会う人ごと」=会うどの人にも同じように  
③「～も一緒に」の意味もある ④「数詞」ごとに=～の間に(1回ずつ)

接続 「動一辞書形」/「名」＋ごとに

例文 彼<sup>かれ</sup>はテスト<sup>う</sup>を受けるごとに成績<sup>せいせき</sup>が上<sup>あ</sup>がっています。

彼は会う人<sup>あひと</sup>ごとにあいさつをする。

りんご<sup>かわ</sup>を皮<sup>かわ</sup>ごと食<sup>た</sup>べる。

一週間<sup>いっしゅうかん</sup>ごとに給料<sup>きゅうりょう</sup>をもらう。

## 175 ～おきに

意味 ①～の間に(1回ずつ)=～ごと ②～の間をあけて

接続 「数詞」＋おきに

例文 10分<sup>ぶん</sup>おきに電車<sup>でんしゃ</sup>が来る。

1m<sup>き</sup>おきに木<sup>き</sup>を植<sup>う</sup>える。

## 176 ～ぶりに/ぶりで/ぶりだ

意味 ～の間をあけて(…する)(前回に～してから、時間が長い経過したことを表す)

接続 「期間」＋ぶりに/ぶりで/ぶりだ

例文 1週間<sup>いっしゅうかん</sup>ぶりにお風呂<sup>ふろ</sup>に入<sup>はい</sup>った。

久し<sup>ひさ</sup>ぶりに、映画<sup>えいが</sup>に行<sup>い</sup>った。

## 177 ～ものとして

意味 そのように考えて

接続 「動一普通形」＋ものとして

例文 <sup>たなか</sup>田中さんはもう来ないものとして、<sup>はじ</sup>始めましょう。

## 178 ～たところで

意味 たとえ～しても(後文は悪い結果、状態を表す)

接続 「動一た形」＋ところで

例文 どんなに<sup>あやま</sup>謝ったところで、<sup>かのじょ</sup>彼女は<sup>ゆる</sup>許してくれないだろう。

## 179 ～(は)しない

意味 絶対～ない(話し言葉で「～(や)しない」の形になることが多い。「～もしない」＝そのこともしない)

接続 「動一ます形」＋(は)しない

例文 これはほかの<sup>ひと</sup>人に<sup>はな</sup>話しはしないから、<sup>あんしん</sup>安心して<sup>ください</sup>。  
<sup>かれ</sup>彼からの<sup>てがみ</sup>手紙を<sup>よ</sup>読み<sup>す</sup>もしないで<sup>す</sup>捨てた。

## 180 ～め

意味 ちょっと～のようだ(「～目」と漢字で書く場合もある)

接続 「い形一〇」＋め

例文 あしたはいつもより、<sup>はや</sup>早<sup>で</sup>めに出かけましょう。

## 181 ～ぶる

意味 ～らしい様子をする

接続 「い形一〇」/「名」＋ぶる

例文 <sup>かれ</sup>彼は<sup>かねも</sup>金持ちぶっているが、<sup>ほんとう</sup>本当は<sup>しゃっきん</sup>借金がたくさんある。

## 182 ～まま

意味 ～の状態で(「～ままに」＝その時の状態や場合にしたがう)

接続 「動一普通形」/「名一の」＋まま

例文 <sup>きのう</sup>昨日は<sup>ようふく</sup>洋服を着<sup>き</sup>たま<sup>ね</sup>まま寝た。  
<sup>やくざ</sup>やくざに<sup>い</sup>言われる<sup>おかね</sup>ままに<sup>はら</sup>お金を払う。

## 183 ～だけのことはある/だけのことはあって

意味 ～にふさわしい/～のねうちがある

接続 「動、い形、な形、名」の名詞修飾形＋だけのことはある/だけのことはあって

例文 <sup>かれ</sup>彼は<sup>はし</sup>走るのが<sup>はや</sup>速い。さすが<sup>せんしゅ</sup>サッカー選手だけのことはある。

## 184 ～だの～だの

意味 ～や～など(たくさんあるものの一部だけをあげる場合に使う)

接続 「動一辞書形」/「い形一い」/「名」＋だの「動一辞書形」/「い形一い」/「名」＋だの

例文 彼は部屋が狭いだの、食事がまずいだのといつも文句を言っている。

## 185 ～(なら)いざ知らず

意味 ～についてはよく知らないから、別にして

接続 「名」＋(なら)いざ知らず(「～はいざ知らず」の形も使う)

例文 外国ならいざ知らず、それは日本では禁止されている。

## 186 ～なくして(は)～ない

意味 ～がなかったら～ない

接続 「名」＋なくして(は)＋「動一普通形」＋ない

例文 努力なくして成功はあり得ない。

## 187 ～上げる

意味 全部～する

接続 「動一ます形」＋上げる

例文 昨日やっと論文を書き上げる。

## 188 ～果たす

意味 全部～してしまう(「なくなってしまう」という意味を表す)

接続 「動一ます形」＋果たす

例文 貯金を全部使い果たした。

## 189 ～こなす

意味 全部うまく～する

接続 「動一ます形」＋こなす

例文 ワープロを使いこなすのは難しい。

## 190 ～通す

意味 最後まで～し続ける

接続 「動一ます形」＋通す

例文 彼女は自分のしたいことをやり通した。

## 191 ～たて

意味 ～してすぐの状態

接続 「動一ます形」＋たて

例文 炊き立てのご飯はおいしい。

## 192 ～つける

意味 ～することになれている

接続 「動一ます形」＋つける

例文 読み<sup>よ</sup>つけない本<sup>ほん</sup>を読<sup>よ</sup>むと頭<sup>あたま</sup>が痛<sup>いた</sup>くなる。

### 193 ～て(は)かなわない

意味 とても～ので、がまんができない

接続 「い形一くて」/「な形一で」＋(は)かなわない

例文 ヒーターが故障<sup>こしょう</sup>したので、寒<sup>さむ</sup>くてかなわない。

### 194 ～とは限<sup>かぎ</sup>らない

意味 ～とはきまっていない(部分的に否定している)

接続 「動一辞書形」＋とは限らない

例文 試験<sup>しけん</sup>に、この問題<sup>このもんだい</sup>がで<sup>で</sup>るとは限<sup>かぎ</sup>らない。

意味 ～するかもしれない(可能性<sup>可能性</sup>がある時に使う)

接続 「動一ない形一ない」＋とは限らない/とも限らない

例文 試験<sup>しけん</sup>に、この問題<sup>このもんだい</sup>がで<sup>で</sup>ないとは限<sup>かぎ</sup>らない。

### 195 ～なくちゃ

意味 ～しなくてはいけない(「いけない」を省略した形。「～しなければいけない」は「～なきゃ」になる)

接続 「動一ない形」＋なくちゃ

例文 もう帰<sup>かえ</sup>らなくちゃ。そして宿題<sup>しゅくだい</sup>しなくっちゃ。

あした、洗濯<sup>せんたく</sup>しなきゃ。